

(順不同、敬称略)

部門	賞名	受賞句	所在地	受賞者
一般部門	選者特選賞 (10句)	若草になつた一行詩のそよぐ	東京都	林 ひとみ
		何もなき場所へ行かんと蝮の道	熊本市	初田 ゆうこ
		焼酎を何と割っても泣ける夜	愛知県	浅田香歌
		渾身といふ被爆樹の芽吹かな	神奈川県	清水 紀雄
		空蟬に握力風になるまでは	福岡県	藤崎 由希子
		腕時計外し二十世紀梨齧る	山口県	遠藤檸檬子
		てのひらの清水を清水へとかへす	鳥取県	加藤幸龍
		わだつみが与へし翼つばめ魚	新潟市	酒井春棋
		紫陽花の初めは日本海の青	兵庫県	稲谷 有記
		土用東風砂丘に沈む旅の足	広島市	前田 節
	正賞 (10句)	焚火して少し進路の話など	岐阜県	松永 智志
		紫陽花の初めは日本海の青	兵庫県	稲谷 有記
		煮凝をくづして夜の生まれけり	鳥取県	加藤幸龍
		冒頭で鳴らすシンバル大西日	東京都	加那屋こあ
		穀雨ただ駱駝の睫毛ぬらしをり	埼玉県	黒澤 正子
		昔日の古書肆を巡る梅日和	兵庫県	服部 陽桜子
		煮干しにもそれぞれの顔年の暮	石川県	加世
		遠足の草に置かれし野球帽	山口県	遠藤檸檬子
		手くすぐるほうたるの息らしきもの	愛知県	北川 宮子
		着ぶくれて一枚岩じゃない僕ら	埼玉県	深谷 健
	准賞 (10句)	妹は砂になりゆく月明り	大阪府	久保 彩
		渾身といふ被爆樹の芽吹かな	神奈川県	清水 紀雄
		まんまるの母のおむすび山笑ふ	東京都	林 ひとみ
		雪溪やサラブレッドの貌に星	札幌市	増田 植歌
		こゑ先に海へ駆けゆく海開き	宮城県	渋谷 史恵
		静けさや砂丘に流れこむ銀河	愛媛県	杉野 祐子
		合格の子の走り出す汀かな	大阪市	小寺 久美子
		クレーンの積みゆくビルや縹雲	群馬県	原 清香
		砂丘まで一本道や梨の花	奈良県	浦城 亮祐
		しやぼん玉十七音に探す夢	鳥取県	長田 遼平
	入選 (100句)	しやぼん玉十七音に探す夢	鳥取県	長田 遼平
		焚火して少し進路の話など	岐阜県	松永 智志
		星涼し漁火燃える日本海	鳥取県	ろんこ
		昔日の古書肆を巡る梅日和	兵庫県	服部 陽桜子
		草若葉ふるさとに父母ともに老ゆ	群馬県	福島 篤史
		若草になつた一行詩のそよぐ	東京都	林 ひとみ
木も草も空も天道虫の道		奈良県	緒方 順一	
遠足の草に置かれし野球帽		山口県	遠藤檸檬子	
雲動き夏めく空の青さかな		鳥取県	山本 美由紀	
母の日の母の手足となりて旅		愛媛県	門田 安世	

穀雨ただ駱駝の睫毛ぬらしをり	埼玉県	黒澤 正子
パスワード志望校にす夏課外	山口県	三宅 典子
手くすぐるほうたるの息らしきもの	愛知県	北川 宮子
春雨や新品のピアス磨いて	茨城県	鳴井 袖紀
まんまるの母のおむすび山笑ふ	東京都	林 ひとみ
鯉のぼり一年分の風を呑む	宮城県	渋谷 史恵
冒頭で鳴らすシンバル大西日	東京都	加那屋こあ
抱きとめて苺の匂ふ吾子なりし	鳥取県	棕 麻里子
昔日の古書肆を巡る梅日和	兵庫県	服部 陽桜子
再会や梨の歯触り瑞々し	堺市	ヤマノ 大輔
煮凝をくづして夜の生まれけり	鳥取県	加藤幸龍
レモンサワー銀婚の夜の笑い声	川崎市	藤原真央
焚火して少し進路の話など	岐阜県	松永 智志
風音も瀬音も棲みし合飲の花	新潟市	吉田 希美
煮干しにもそれぞれの顔年の暮	石川県	加世
鞆より出づるいつぞの桜朧	東京都	向井 麻代
父の日や臍を貫く手術痕	熊本市	貴田 雄介
桜蕊降る四つ目の母校かな	大阪府	押見げげげ
青空のゲートタイタンピカス炎ゆ	岡山市	有田 純子
左胸に鋏形付けて上司来る	島根県	岩崎 司
雪溪やサラブレッドの貌に星	札幌市	増田 植歌
静けさや砂丘に流れこむ銀河	愛媛県	杉野 祐子
渾身といふ被爆樹の芽吹かな	神奈川県	清水 紀雄
紫陽花の初めは日本海の青	兵庫県	稲谷 有記
焚火して少し進路の話など	岐阜県	松永 智志
母の日の母の手足となりて旅	愛媛県	門田 安世
するすると木に登る子や夏来る	東京都	伊勢 史朗
夢路までとどく潮騒花みかん	愛媛県	川九 亜矢子
父の日や臍を貫く手術痕	熊本市	貴田 雄介
壺焼や恋して恋のことはず	東京都	山月 恍
暗い世に上を向かせる大花火	千葉県	ぐっしー
こゑ先に海へ駆けゆく海開き	宮城県	渋谷 史恵
介護食自ら作る生身魂	川崎市	久保田 聡
路地一本入れば昏き祭かな	群馬県	菅野 馨子
評判の塾の軒先燕の巣	岐阜県	笠井 智子
短夜や浜の真砂に残る熱	兵庫県	藍創千悠子
右隣左隣も目借どき	奈良県	緒方 順一
生きてきた歳を数えて柚子湯かな	愛知県	長谷 守紘
クレーンの積みゆくビルや鰯雲	群馬県	原 清香
メインディッシュより菜の花の辛子和へ	北九州市	上月ひろし
冒頭で鳴らすシンバル大西日	東京都	加那屋こあ
湧きいづる雲かと思う天の川	鳥取県	福田 淳子
焚火して少し進路の話など	岐阜県	松永 智志

手くすぐるほうたるの息らしきもの	愛知県	北川 宮子
てのひらの清水を清水へとかへす	鳥取県	加藤幸龍
着ぶくれて一枚岩じゃない僕ら	埼玉県	深谷 健
紫陽花の初めは日本海の青	兵庫県	稲谷 有記
湖底から森を眺めてゐる蜆	島根県	上川 裕希子
染浴衣両手を蝶にして踊る	札幌市	ただすみれ
いのちみじかしブロッコリーいつまで裂く	鳥取県	山口 遼也
煮干しにもそれぞれの顔年の暮	石川県	加世
遠足の草に置かれし野球帽	山口県	遠藤檸檬子
合格の子の走り出す汀かな	大阪市	小寺 久美子
煮凝をくづして夜の生まれけり	鳥取県	加藤幸龍
紫陽花の初めは日本海の青	兵庫県	稲谷 有記
父ほどの農とはなれず茄子を植う	神奈川県	西岡 一馬
着ぶくれて一枚岩じゃない僕ら	埼玉県	深谷 健
平均点ばかりの答案鞆漕ぐ	仙台市	増淵 絵理
クレーンの積みゆくビルや翳雲	群馬県	原 清香
筆庄のつよきひらがな入学児	大分県	岸本 恵美
砂丘まで一本道や梨の花	奈良県	浦城 亮祐
雨音に消ゆる川音夏近し	東京都	月城 花風
海昏れて残る波音夏椿	横浜市	谷元 博樹
母の歩に合わず山道梅探る	愛媛県	門田 安世
まんまるの母のおむすび山笑ふ	東京都	林 ひとみ
紫陽花の初めは日本海の青	兵庫県	稲谷 有記
甚平も父の柩に入れにけり	鳥取県	長尾 たか子
昔日の古書肆を巡る梅日和	兵庫県	服部 陽桜子
紅葉且つ散るこの国にこの里に	さいたま市	坂西涼太
村ひとつ沈む湖栗の花	東京都	加那屋こあ
誰ひとり知らぬ遺影ぞ扇風機	札幌市	ただすみれ
大学やよくある落としものに葱	鳥取県	松田蕾子
妹は砂になりゆく月明り	大阪府	久保 彩
月涼しボンゴをたたく指速し	沖縄県	さざなみ葉
大きくて人を襲わぬ南瓜かな	名古屋市	イサク
服のまま靴のまま行け水遊び	島根県	上川紗央里
筆庄のつよきひらがな入学児	大分県	岸本 恵美
揚羽蝶小さな木陰ひと休み	鳥取県	尾崎 美也
雲一つ里帰りせし空き家かな	岡山県	岩中 幹夫
目印は汚れた帽子潮干狩	山口県	阿部 友子
ハンカチや海は吾ゆえに塩辛い	千葉県	弥栄武庫
何もなき場所へ行かんと蜷の道	熊本市	初田 ゆうこ
土用東風砂丘に沈む旅の足	広島市	前田 節
煮凝をくづして夜の生まれけり	鳥取県	加藤幸龍
穀雨ただ駱駝の睫毛ぬらしをり	埼玉県	黒澤 正子
妹は砂になりゆく月明り	大阪府	久保 彩

渾身といふ被爆樹の芽吹かな	神奈川県	清水 紀雄
萍の浮くさびしさを埋め尽くす	福岡県	藤崎 由希子
果物のスライスに面夜のプール	さいたま市	宮澤 順子
春林に永久に貸す家の鍵	奈良県	のり介